

平成 30 年 7 月 11 日

理事者各位

千葉県民間保育振興会
会 長 高橋 克文

理事者会議開催通知

下記の通り理事者会議を開催いたしますので、宜しくご参集の程お願い申し上げます。

記

日時 平成 30 年 7 月 17 日 (火) 14 時 00 分 ～ 17 時 00 分

場所 明照保育園 (香取市) 住所: 香取市下小堀 6 1 1 - 1 電話: 0478-82-2643

議題 議事日程通り

議事日程

- 1, 会長挨拶 (高橋 克文会長)
- 2, 議長就任 議長 (丸山 純 副会長)
- 3, 定足数確認 (田中 幸夫)
- 4, 資料確認 (事務局長) 事前配布資料 枚 (本用紙を含む)
当日配布 枚 (内差替資料 枚)
合計 枚
- 5, 議事録作成人紹介 作成人 (猪瀬 貴大)
- 6, 議事録署名人 (議 長)
(小室 香) (小島 基江)
- 7, 前回議事録承認 (議 長)

議題の確認

- 8, 新議題の採択 (議 長)
(事項)
① ()

- 9, 本日の議題
(審議事項)
① 養成校と保育施設の情報交換会報告並びに決算 (案) 承認の件 (経営研究)

(協議事項)
① 平成 31 年度保育関係予算に対する要望書 (調査要望)

10, 各種報告

事務局

- ・ 会計報告

研修委員会

・

広報委員会

・

調査要望委員会

・

経営研究委員会

・

保育者の集い委員会

・

青年部会

・

その他

・

11, 次回開催日時場所確認 (事務局)

日 時 平成 30 年 9 月 18 日 (火) 午後 2 時 00 分 ~ 午後 5 時 00 分
場 所 西船橋出張所 (船橋市)

返信用紙

7月 17日の理事会に 出席 ・ 欠席 します（どちらかに○をつけてください）

欠席・遅刻・早退 の理由をご記入ください

保育園名： _____

氏 名： _____

なお、ご欠席の場合は、必ず下記の委任状をご記載頂きますようお願い致します。

理事会委任状

私は、 _____ を代理人として定め、次の権限を委任致します。

記

平成 30 年度 千葉県民間保育振興会 7月理事会議事に関する一切の件

平成 30 年 月 日

保育園名： _____

氏 名： _____

代理人の氏名が記載されていない場合、議長一任とみなして取扱い致しますので
ご了承下さい。

【提出先】

事務局 音のゆりかご保育園内 久居麻紀子 宛て

FAX : 047-712-1057

Email : info@shinkokai.main.jp

平成30年度 千葉県民間保育振興会 第3回理事者会議事録

1. 日時 : 平成30年6月19日(火) 10:00~12:00
2. 場所 : 西船出張所 会議室C・D
3. 出欠者

出席者(18名:敬称略)

高橋 克文(丸山旭保育園)	芝田 三津子(原木保育園)
鈴木 眞廣(和光保育園)	篠田 光代(八木北保育園)
藤井 威朗(チューリップ保育園)	飯田 秀正(若杉保育園)
丸山 純(第二勝田保育園)	高橋 弘道(明照保育園)
小島 基江(つくし保育園)	後藤 敏宏(こでまり保育園)
長島 博樹(光の子保育園)	久居 麻紀子(音のゆりかご保育園)
飯島 一幸(さくら保育園)	山田 裕宇記(小金西グレースこども園)
小室 香(国府台保育園)	村上 輝子(えどがわ南流山保育園)
嶋本 賢修(白井保育園)	岩間 真佐代(弁天保育園)

オブザーバー

猪瀬 貴大(愛泉保育園)

欠席者(8名:敬称略)

平野 弘和(岩根保育園)	茂呂 剛(新木戸保育園)	田鎖 美穂(花の子保育園)
平野 富昭(海神南保育園)	田中 幸夫(新井保育園)	橘 朱美(いわさき保育園)
熱田 寛明(東保育園)	伊藤 未来(子すずめ保育園)	

4. 【会長挨拶】

高橋会長から以下の挨拶がなされた。

本日は、大変お忙しい中、ご出席頂き有難うございます。今年度は皆様並びに私自身も含め、任期が最後の年となります。今年度は、次期体制への移行期間でもあり、当会の活動が滞りなく進んでいくよう、次期体制へとしっかりと整えていきたいと思っております。また、次期体制へ移行するにあたり、現在、当会の活動や処遇改善Ⅱ等の行政情報発信が会員園へタイムリーに行き届いてない状況があり、その点に関しても今後、体制を整え引き継ぐ予定です。以上です。よろしく申し上げます。

5. 【議長就任】

篠田副会長が任命され開会宣言がなされた。

6. 【定足数の確認】

田中総務委員長より「理事者総数 26 名中 18 名出席並びに委任欠席 3 名であり過半数の出席が確認され、定足数の充足が確認された」との報告がなされた。

7. 【資料確認】

久居事務局長より、以下の資料の確認がなされた。

- ・ 6 月理事者会議開催通知
- ・ 5 月理事者会議議事録（前回分）
- ・ 平成 30 年度「地域代表者会議企画書」
- ・ 平成 30 年 6 月 19 日
- ・ 振興会 HP 刷新提案関係資料
- ・ 振興会 HP 刷新提案追加関係資料（当日資料）
- ・ 振興会平成 30 年度 5 月末日残高試算表（当日資料）

8. 【議事録作成】

猪瀬貴大（愛泉保育園）が 6 月度議事録の作成担当とされた。

9. 【議事録署名人】

- ・ 議長：篠田 光代（八木北保育園）
- ・ 署名人：高橋 弘道（明照保育園） 後藤 敏宏（こでまり保育園）
が指名された。

10. 【前回議事録承認】

承認された。

11. 【新議題の採択】

平成 31 年度キャリアアップ研修における振興会企画並びに運営参入について

12. 本日の議題

【審議事項】

特になし。

【協議事項】

＜私保連関プロ「子どもの育ちを支える運動研修会」企画について＞

高橋調査要望委員長より本協議事項に関して当日に配布された資料を基に説明後、協議がなされた。概要は以下に記載する。

- ・ 企画内容の詳細は事前資料として配布された別紙を確認するものとする。タイムスケジュール並びに予算等の大きな修正点は無いが、全国私立保育園連盟関東ブロックとの連

携企画の為、挨拶者の選定を含め、確認すべき事項が見つかった。その点に関しては再検討することとされた。

<平成 31 年度キャリアアップ研修における振興会企画並びに運営参入について>
高橋調査要望委員長より本協議事項に関して当日、口頭にて説明後、協議がなされた。概要は以下に記載する。

- ・現在、千葉県保育協議会がキャリアアップ研修の一部受講科目を県より委託される中、今後、委託内容をより拡充される可能性があるとのこと。そのような中、当会もキャリアアップ研修の運営等で携わっていくかどうかの協議が行われた。
- ・キャリアアップ研修を企画並びに運営するにあたり、現状、当会の組織体制並びに研修体制を考慮し、新たにキャリアアップ研修事業を当会主体で企画及び運営していくことは難しいのではないかとのこと。
- ・上記の内容を踏まえ、平成 31 年度は見送られることとなった。

13.各種報告事項

○ 事務局

<平成 30 年度総会報告>

- ・久居事務局長より 5 月 15 日（火）に行われた「総会」が無事終了したことの報告がされた。
- ・飯島会計局長より当日配布された資料を基に 5 月 15 日（火）に行われた「総会」の会計報告がされた。詳細は別紙に記載する。

<振興会、私保連 会費請求について>

- ・飯島会計局長より平成 30 年度の振興会並びに全私保連の加盟園数が確定したとのこと。またそれに伴い会費請求の準備及び案内を進めていく予定とのこと。

<キャリアアップ研修について>

- ・久居事務局長より振興財団から 6 月 27 日（水）にキャリアアップ研修について情報交換を行いたいとの連絡を受けましたとのこと。なお、振興財団は今年度より委託機関から指定機関へと変更されたとのこと。

○ 研修委員会

- ・長島研修委員長より現在、保育実践をテーマとした研修会が 24 名、保育の環境構成をテーマとした研修会が 60 名、会員園の皆様から参加申込があるとのこと。また、研修

会の参加者数は、年々少しずつ増加傾向にある中、今年度は流山市並びに船橋市などから従来参加されていない園からも参加申込があるとのこと。今後、情報が更新次第、報告させていただきますとのこと。

○ 広報委員会

- ・藤井広報委員長より事前及び当日配布された資料の説明並びに報告がされた。HPの刷新方法については複数案あり、委員会内で再検討することとされた。なお、今後の検討方法については、別紙の「ホームページの刷新について」に記載するものとする。

○ 調査要望委員会

- ・6月に委員会が行われた。その中で今年度は会員園への調査、千葉県への要望書作成、地域代表者会議開催の3本柱で取り組んでいくとのこと。

○ 経営研究委員会

- ・後藤経営研究委員長より本理事会後に行われる「養成校との情報交換会」の開催報告が行われた。

○ 保育者の集い委員会

- ・飯田保育者の集い委員長より5月18日（金）に委員会を行ったとのこと。その中で会場が「グリーンタワー幕張」に決定したとのこと。また、時間においても午前9時より開催となり、従来に比べ1時間早い開催とのこと。同日、最寄り駅の周辺イベントによる混雑状況等に関しては今後、確認を行う予定とのこと。また、6月27日（水）に第1回委員会を行う予定とのこと。

○ 青年部会

- ・飯島会計局長より5月29日（火）に平成30年度「全体研修会並びに歓送迎会」が行われたとのこと。また、今年度から新たに各委員会のブログを立ち上げたとのこと。今後の活動としては、7月に役員会、9月に研修会を予定しているとのこと。

○ その他

<保育料無償化について>

- ・丸山副会長より保育無償化の動きについて報告が行われた。既に関西の一部市区町村において保育無償化が行われているが、平成31年10月より3・4・5歳の無償化が全国に行われる動きがあるとのこと。無償化については各市の財源確保やそれによる市の待機児童増加問題など、不透明な部分も多くある為、今後、新たな情報発信があるのではないかとということが報告された。

次回開催日時場所確認

日時：平成 30 年 7 月 17 日（火） 午後 2 時 ～5 時

場所：明照保育園（香取市）

以上をもち 篠田 光代議長 の閉会宣言により終了となる。

本理事会の正確を期するため、以下署名捺印する。

議長

八木北保育園 篠田 光代 印

議事録署名人

明照保育園 高橋 弘道 印

こでまり保育園 後藤 敏宏 印

平成30年7月17日

協議事項	No.	
審議事項		
別紙資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	枚

担当委員会名	経営研究委員会委員会
担当副会長	篠田 光代 印
委員長	後藤 敏宏 印
作成者	後藤 敏宏 印
会計	飯島 一幸 印

千葉県民間保育振興会

平成30年度 養成校と保育施設の情報交換会報告並びに決算（案）承認の件

事業名：養成校と保育施設の情報交換会		
担当委員会名	担当副会長名	委員長名
経営研究委員会	篠田 光代	後藤 敏宏
(委員会メンバー) 嶋本 賢修 ・ 杉本 正人 ・ 富澤 真史 ・ 三津田 優 ・ 村上 輝子		
参加人数	情報交換会 51名	懇親会 26名
<p>準備（準備にどのような努力をしたか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画にあたり、前回の反省をもとに全員で知恵を出し合った。 ・ 会場使用許可について、備品等含め費用負担なしで借りることができた。 ・ 動員を伸ばすべく各市町村、園長会等でのPRを行った。 ・ 役割分担を明確にし、それぞれの役割等をしっかりと確認した。 ・ 事前アンケートを実施することによりスムーズな進行を心掛け、また当日がより有意義なものとなるよう努力した。 ・ 養成校側と連携を図り、日程・内容の協議を行った。 ・ さらに交友を深めるため、懇親会を企画・実施した。 <p>委員会開催 4回</p>		

<p>内容</p>	<p>開催日時：平成30年6月19日（火） 13時30分～17時00分</p> <p>開催場所：西船橋出張所</p> <p>事業内容：振興会理事者、加盟園理事長・園長等と保育士養成校関係者と懇談し、保育施設と養成校の相互理解を深める。また、それぞれの立場から今後の県内の民間保育業界発展のための意見交換の場とする。</p> <p>[1部] 養成校より現状の発表 [2部] 養成校と保育施設の意見交換 (2グループ：60分×2回転)</p>
<p>結果（まとめ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全加盟園を対象として開催であったが、内容的に素晴らしかった。 ・時間が足りないとの声も多く、時間配分等、配慮が必要であった。 ・十分なりハースルを行ったため、進行はスムーズであった。 ・案内板を設置する等、会場案内に配慮すべきであった。 ・養成校側の懇親会参加が4名と少なく、残念であった。 ・当日参加に慌て、苦慮した。
<p>対外目的の達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場の現状や求められている保育者像を知る事で保育者養成に役立つ機会となった。
<p>対内目的の達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の学生の実態（特徴・意識・志向等）や養成校教育の実状を知り、現場の現状とすり合わせることで相互理解を深めることができた。
<p>趣旨の達成</p>	<p>達成の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に達した点 養成校とそれを受け入れる保育施設間で互いが抱える問題を共有し、県内養成校との連携強化に繋げる機会となった。 ・事業目的に達しなかった点 なし。

平成30年度 養成校と保育施設の情報交換会 決算書(案)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	摘 要
(収入の部)				
1 繰入金収入	0	0	0	
2 事業費収入	50,000	49,778	△ 222	
	50,000	49,778	△ 222	
収 益 計	50,000	49,778	△ 222	
(支出の部)				
1 事業費支出	48,000	49,778	1,778	
会場設営費	10,000	10,000	0	看板
運営費	5,000	6,708	1,708	
講師関係費	0	0	0	
広報費	0	0	0	
印刷製本費	9,000	8,640	△ 360	
消耗品費	1,000	240	△ 760	
通信費	23,000	24,190	1,190	
雑費	0	0	0	
2 事務費支出	0	0	0	
3 予 備 費	2,000		△ 2,000	
予備費	2,000		△ 2,000	
本部会計戻入		0		
費用計	50,000	49,778	△ 222	
収支差額		0		

参加者名簿（養成校側）

平成30年度 養成校と保育施設の情報交換会 養成校参加実績					
NO	学校名	参加講師	役職	懇親会	備考
1	植草学園大学	栗原ひとみ	発達教育学部教授	○	
2	植草学園短期大学	小林鶴枝	キャリア支援課課長	○	
3	千葉こども専門学校	阿部央雄	副校長	×	
4	江戸川大学	松田清美	准教授	○	
5	城西国際大学	大内善広		×	
6	千葉経済短期大学	上村麻郁	准教授	×	
7	千葉女子専門学校	堀切真寿美	教諭	○	
8	成田国際福祉専門学校	平山紀子	専任教員	×	
9	千葉明德短期大学	石井章仁	教授	○	情報交換会不参加
10	千葉明德短期大学	池谷潤子	講師	×	
11	昭和学院短期大学	山下住香	助教授	○	
12	船橋情報ビジネス専門学校	南部愛子	こども学科顧問	×	
13	船橋情報ビジネス専門学校	生越雅志	教員	×	
14	船橋情報ビジネス専門学校	高橋豊	就職指導室	×	
			情報交換会 14名	懇親会 6名	

平成30年度 養成校と保育施設の情報交換会 保育施設実績一覧表

氏名	役職	ブロック	園名	懇親会									
1 高橋克文	園長	船橋市	丸山旭保育園	○					21 渡辺恵之助	園長	一宮市	東浪見こども園	○
2 山田裕宇記	園長	松戸市	小西西グレースこども園	×					22 藤井威郎	園長	千葉市	チューリップ保育園	○
3 増川智美	園長	松戸市	松戸ひばり保育園	×					23 飯田秀正	園長	山武市	若杉保育園	○
4 谷幸子	園長	船橋市	あまねの杜保育園	×					24 中野貴子	主任	船橋市	三山つくし保育園	×
5 小島地加	園長	船橋市	みそら保育園	×					25 臣司邦江	副園長	市川市	柏井保育園	○
6 小堀岳美	園長	市川市	ありのみ保育園	×					26 中馬利江子	事務長	市川市	柏井保育園	○
7 佐竹恒輝	園長	船橋市	てまり保育園	×					27 宮間綾子	園長	千葉市	みらい保育園	×
8 飯島一幸	園長	船橋市	さくら保育園	○					28 伊藤愛子	理事長	船橋市	しらゆり保育園	×
9 渡辺好美	園長	船橋市	東船橋ちとせ保育園	×					29 芝田三津子	園長	市川市	原木保育園	×
10 久居麻紀子	園長	松戸市	音のゆりかご保育園	○					30 小室香	園長	市川市	国府台保育園	×
11 金子真理子	理事長	船橋市	高根台グリーンキッズ保育園	○					委員会メンバー				
12 仲村房子	理事長	船橋市	前原保育園	×					31 篠田光代	園長	流山市	八木北保育園	○
13 鈴木真廣	園長	富津市	和光保育園	×					32 後藤敏宏	園長	船橋市	こでまり保育園	○
14 松丸健太郎	広報	市川市	かいづか保育園	○					33 嶋本賢修	園長	白井市	白井保育園	○
15 佐々木勇人	事務長	市川市	さくらんぼ保育園	○					34 村上輝子	園長	流山市	えどがわ南流山保育園	○
16 恒松珠美	園長	船橋市	ローゼンかみやま保育園	×					35 三津田優	理事長	船橋市	かもめ保育園	○
17 小島基江	副園長	市川市	つくし保育園	×					36 杉本正人	園長	船橋市	たかね台ベビーホーム	○
18 浅野久美子	園長	流山市	聖華マリン保育園	×					37 富澤真史	園長	白井市	ひまわり保育園	○
19 仰木俊恵	園長	木更津	認定こども園木更津みらい	×									
20 猪瀬貴大	事務長	市川市	愛泉保育園	○							研修会出席	37名	
											懇親会主席	20名	

写真（視覚的な記録）



保育士養成校と保育施設の情報交換会 アンケート集計

今回、情報交換会の内容は参考になりましたか？

- 1、大変参考になった 18名 2、参考になった 8名
3、ふつう 0名 4、あまり参考にならなかった 0名

※ 特に参考になった内容、もっと知りたかった内容等お書き下さい。

- ・学生の就職に対する意識が伺えた。
- ・3つの質問が参考になった。
- ・1部の養成校からの①②③についてとても良かった。
- ・養成校との交流が持てて良かった。
- ・就職に向けての社会マナー等、養成校の指導
- ・施設側のご要望及び連携の模索。
- ・先生方の生の声がとても響いた。
- ・各養成校の学生さんからの相談事項。
- ・養成校の方々の考え方や今の学生の事を知ることができた。
- ・離職原因の多くは人間関係。実習中の対応からそのことを値踏みする。
- ・保育園側の情報しかなかったので、養成校の話聞いて良かったです。
- ・学生の思いや姿が聞く事が出来て本当に良かったです。また、実習に関しても学校側の思いを聞く事が出来、改めて考えさせられました。
- ・養成校の先生方のお話から、学校の学生に課している事、学生の状況、資質も含めてわかったように思います。
- ・実情が分かり、とても参考になりました。
- ・3年未満での離職理由や相談内容。
- ・保育園に就職したい学生さんがとても多いと思いました。
- ・学生の姿が色々分かった事で保育園側の対処の仕方も変えていかなければならないと思った。
- ・学生の傾向を知ることが出来たのは良かったが、新人保育士の働いている姿等を話すチャンスがなく残念でした。
- ・学生の感じている事、考えている事が聞いて良かったです。

【養成校】

- ・他の養成校での取り組みについて聞く機会になった。養成校として何ができるのか、保育園からの希望や意見をさらに聞きたかったです。
- ・現場の声が聞こえてよかったです。みんな悩みは一緒ですね。
- ・学生の就職先となる保育所との意見交換が出来たことで学生への指導の在り方について勉強になりました。
- ・保育施設が学生に求めていること。

- ・1グループの人数が多かったために、発言されなかった方が出たのが少し気になりました。
- ・他校の学生の状況が知れて良かったです。また、保育園の先生方のお考えを直接聞かせて頂き良かったです。

※ 感想、お気づきの点などございましたらお書き下さい。

- ・こういう会を継続して、風通し良くしていくことが重要
- ・とても良かったです。
- ・フリートークに時間をたっぷりとってあることがとても良かった。
- ・1回目では実習についての話題が多すぎ残念でした。
- ・初めて参加させて頂きました。色々な話が出て参考になりました。今後ともよろしく願います。
- ・発言が偏ってしまうことがあったので少し残念でした。
- ・実際に先生方（養成校）のお話を伺い、とても有意義な時間でした。また、ぜひ機会を作って下さい。
- ・交換会に参加させて頂きありがとうございます。
- ・良かったです。
- ・今回のような交換会を数回開いてほしいです。
- ・保育の仕事、いい仕事だよ！！ということを広めていきたい。
- ・流山市の現状を話して実習生を送っていただき、就職につなげられるようにしたかった。初回だったため難しかった。
- ・働きやすい、楽しい職場になる様に整えていきたいと思いました。

※ 千葉県民間保育振興会加盟園の皆様にお聞きします。

今後、経営に関する研修について興味がある、もしくはやって欲しいテーマがあればお聞かせ下さい。

- ・選ばれるかどうかは大切かもしれないが、千葉県の保育園に皆が勤めたくなるように高めあえたら。
- ・後継ぎとして生きていくためのモチベーションの維持方法、どうやったら自分に継承させることができるか、どうしたら自分の生活が豊かになるか。(経済的に)
- ・2回続けて参加させて頂き有意義に過ごせました。ありがとうございます。
- ・離職を減らすには、就職後ある
- ・このような情報交換会は非常に大切だと思います。

平成31年度保育関係予算に対する要望書

平成30年 月 日

千葉県知事 鈴木 栄 治 様

千葉県保育協議会
会長 圓藤 弘典
千葉県民間保育振興会
会長 高橋 克文

※ 頭書き全文変更

平素から保育事業の推進向上について、保育士の処遇改善事業・保育士配置改善事業・多様なニーズに対応した子育て支援等、子ども・子育て世代への支援の充実に特段の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成29年6月に「子育て安心プラン」が閣議決定され、すべての子ども・子育て家庭を対象に、支援の質・量の拡充を図る施策が進められています。

千葉県保育協議会及び千葉県民間保育振興会では、地域の子ども・子育て支援の拠点として「すべての子育て家庭に対する支援」、「多様な保育の提供」に対応し、子どもと子育て世代への強力なサポートを実践して、子どもの視点に立った保育の取り組みに日々努力しております。また、「子どもの最善の利益を護る」基本姿勢を貫きつつ、保育施設の役割を重く受け止め、子ども・子育て支援新制度に示された子育てをめぐる課題解決に積極的に取り組み、その目的を達成してまいりたいと決意を新たにしています。

つきましては、新制度における課題の解消に向けてご配慮いただくとともに、平成30年度県予算におきまして、次に掲げる要望事項について格別なる御理解のもと、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成 3 1 年度予算要望書

〔重点要望項目〕

1. 保育士不足解消に対する要望

都市部での未だに解消されない待機児童の現状をみれば、保育士不足問題はますます深刻です。処遇改善が図られたり、保育士試験の回数を増やしたりする取り組みも始まっていますが、有資格者を増やしたり、潜在保育士を再就職につなげる更に一歩進んだ手立てを講じる必要があります。また、職員間格差が生じないように、処遇改善を全職種へ拡大することを要望します。

2. 専任の事務職員配置の要望

新制度移行後、作成する書類が増え、事務にかかる負担は増加するばかりです。すでに園長、主任保育士の本来業務に支障を来し、施設によってはそれでも足りず、事務作業のために残業、休日出勤せざるを得ない状況も生じています。事務員を正規の職員として採用できるよう要望します。

併せて、年度末や不定期に行う調査や報告書などを簡潔なものにし、事務の軽減を図るよう要望します。

3. 調理員増員の要望

国が定める調理員等の配置基準は、最低基準が定められた昭和23年時から改善されることなく、新制度の公定価格においても、40人以下1名、41～150人まで2名、151人以上3名(うち1名は非常勤)でしかありません。

時代は移り、3歳未満児の利用が増え、離乳食へのきめ細やかな対応に手が取られるだけでなく、アレルギー食への対応や食育の推進も重要な業務となっており、栄養士や調理員にかかる負担は年々大きくなっています。現在の配置に加え、調理員1名の加配を要望します。

4. キャリアアップ研修に対する要望

~~国においては処遇改善に伴いキャリアアップ研修の受講が求められています。~~

~~しかし、保育の現場では、人材不足を背景に、既存の研修に派遣する余裕も作りにくい状況が生まれています。~~

~~そこで、全ての研修を新たに企画するのではなく、千葉県保育協議会や千葉県民間保育振興会でこれまで取り組んできた既存の研修を再編成して、キャリアアップに資する研修として認定されることを要望します。~~

→保協から、キャリア研について東京都方式(有料研修を内容により都がキャリア研相当と認定し、修了書と領収書を提出することで園に直接補助する→より多くの研修がキャリア研となる)への変更を要望したいとのことです。

I. 県の施策・補助制度に関する要望

1 施設運営に関すること

(1) 保育士等の不足に対する対策

保育士不足は深刻な問題であることから、有資格者を増やすために、期間を定めて養成校の定員を増せないでしょうか。

潜在保育士については、県も実態把握に尽力いただいておりますが、再就職のための就職情報サイトや、インターンシップの発想を取り入れ、インターン中の賃金保障制度の導入で、再就職への後押しができないでしょうか。

また、現在就業中の保育士等の子の保育料負担の軽減など、継続就業を奨励する対策への拡充を要望します。実現に向けて県にプロジェクトチームを立ち上げて、実行力ある施策展開ができるよう要望します。

(2) 職員配置基準の抜本的改善

保育士定数の改善は保育現場の質の改善に直結するとともに、職員定着の一助となります。1歳児定数の5：1への加算は大変ありがたい対応ですが、今の計算方式では途中入所を制限することになります。1歳児の1人あたり単価の改善での対応を要望します。また4, 5才児の職員配置を30：1から25：1への改善を重ねて要望します。

(3) 保育士配置改善事業の継続と改善

保育所は、保育所職員の有給休暇や研修のための補助職員の確保が難しい現状にあります。職員の定着率向上のための労働環境改善として、保育士配置改善事業の継続を要望します。また乳児・障がい児分は、それぞれ個別の加算とし、賞与分も加算した国の保育士給与改善に合わせた単価の改善を要望します。

さらに、待機児童解消に向けた途中入所への対応ができる制度へと改善を進めてください。

(4) 障がい児保育の充実

3ヶ月未満児と障がい児の受け入れについて、加配1名はありがたい制度ですが、現在の制度では上限額が決められており、受け入れ人数にも限界があります。障がい児の受け入れでは、障害認定に至らずとも、特別な支援を必要とする児童が増加傾向にあります。配置改善事業を利用するためには、療育手帳や児童相談所長の認定が必要ですが、認定を拒む保護者もあり、折角の制度も利用が限定的になっている現状があります。

現在、特別支援が必要と思われる児童への巡回指導が行われておりますが、認定のしくみとして、この巡回指導事業を活用できないでしょうか。

保育園が多様なニーズを持った児童、家庭の支援ができるよう、保育士配置改善事業の加算分の上限を拡大し、また認定基準・手続きの柔軟化など早急に

取り組んでいただきたく要望します。

(5) 施設整備に関わる借入返済への補助の復活

園舎の耐震構造への対応、0・1歳児保育のニーズの高まりにともない急務となった保育室の増築や改装、地域の子育て拠点としての高機能化など、保育園に求められる要求は高まる一方です。しかし、少子化の進行している郡部の法人では、将来の借入返済に不安を抱えるため、建て替えは難しくなっています。

かつては(独)福祉医療機構からの施設整備資金借入金に対する元本補助、利子補給等の制度がありましたが、平成14年度をもってなくなりました。時代のニーズに応じていくために、施設整備にかかる借入返済への補助を復活してください。

2. 市町村への指導調整に関すること

~~(1) 保育所運営に支障をきたす補助金等激減への配慮要請~~

~~新制度施行に際し、市町村独自に加算されていた補助・加算項目が公定価格に含まれることとされ削減されてしまったケースが報告され、施設経営に大きな影響を与えています。新制度施行後の中間年での見直しにあたり、補助金に関しては急激な減額や廃止されたものに関して見直されるよう要請して下さい。~~

~~→新制度施行から3年経過し、もういいのでは。~~

(2) 保育士採用及び待遇にあたっての地域間格差の是正

県内都市部の自治体では、保育士確保のために支度金や家賃の補助政策を行っています。しかし、このような刹那的、近視眼的な保育士争奪政策は、保育士の定着を妨げるとともに保育士不足を拡大させてしまいます。

恒久的な処遇改善を奨励し、さらに均等な雇用機会や待遇の確保等を図るために、地域間格差を是正し、県全体で保育士等の格差ない待遇になるよう要望します。

(3) 理不尽な公私格差の是正 (H31 予算に向けて新規))

県内市町村には特別な理由無く、公立と民間保育所で格差を設けている事例が見受けられます。例えば、いわゆる特別な配慮を要する児童について、民間では受け入れが難しいケースでも受け入れを拒めないような制度運用をしているのに対し、公立での受け入れは見送ることができるなどの事例が聞こえてきます。保育料に公私格差を設けている地域もあるようです。

こうした法令上根拠のない公立優遇の差別的措置が改善されるよう要望します。

II. 国に対する要望

(1) 実勢価格に応じた保育所等整備交付金

老朽化の著しい保育所について、施設機能の強化やサービスの質の向上を図り、施設の増改築や設備の改善を積極的に進められるよう、保育所等整備交付金が継続・充実されるようにしてください。また、最近の建設資材等の高騰により建築単価が上昇しており、実勢価格に応じた補助金額になるよう見直しを要請してください。

(2) 保育士等の処遇改善

保育士等の処遇は改善の手立てが講じ始められたと言っても、依然、他の職種と比較して低い実態にあり、そのことが保育士不足解消の阻害要因となっています。これまで、保育をになう保育所職員の処遇が低く押さえられてきたことが、保育事業の価値観を低下させてきました。

必要財源を確保し、専門性を持ち質の高い保育を行うことのできる保育士等が、安定的・継続的に働くことのできる給与水準と労働環境を速やかに実現してください。

(3) 保育料無償化の段階的实施（H31予算に向けて新規）

国は平成31年度から段階的に保育料の無償化を進める方針を決定しました。しかし、県内では未だ待機児童が解消せず、このまま制度運用が開始されれば、さらなる待機児童の増加により混乱が生じることが予想され、さらにその財源によっては地方の財政を圧迫し、今ある補助金の減額等により保育所運営を圧迫しかねません。

保育料の無償化は待機児童のいない自治体を先行させるなど実施地域を慎重に見極め、財源を十分保証した上で進めるよう要請してください。

千葉県保育協議会に関する要望

(1) 保育所保育士等研修事業での委託継続のお願い

「子ども・子育て支援新制度」の目的には「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」が示されているように、園長をはじめとして保育所職員に求められる専門性も一層の向上が求められ、更なる研修の必要性が高まっています。

千葉県保育協議会は、昭和47年から委託を受け保育士等研修事業を積極的に実施していますが、子育てをめぐる様々な課題を解決し、子どもと子育て世代への支援を充実したものにするためには、保育士等の質の確保は喫緊の課題となっております。

これまでの実績を踏まえ、関係職員の専門性を高め資質の向上を更に図るため、引き続き県研修事業の委託先を本協議会とすることをお願いいたします。

(2) 県運営費補助金増額のお願い

本会は、認可保育所と認定こども園からの会費収入・県補助金及び県社協交付金により運営されております。本会としても事業費の支出の見直しを進めながら、安定した組織運営を目指しておりますが、昨今その財源の確保は難渋を極めております。

そこで、財源の安定を図るべく、県運営費補助金の増額をお願いいたします。

千葉県民間保育振興会に関する要望

(1) 千葉県民間保育振興会の活動を支援してください

千葉県民間保育振興会は発足以来、千葉県の保育団体として保育園経営に関する研修や保育者の資質向上に向けた研修を数多く実施し、保育園保育の質の向上に取り組んできました。また近年は全国私立保育園連盟との連携などを通してよりよい保育制度の制定に向けて、また子育てがしやすい社会環境の実現に向けて活動してきました。現在、県内新設園の加盟等により250園あまりの会員園から、ますます会員は増加傾向にあり、より活発に活動していきたいと考えています。

県には今まで同様、保育に関する国の施策や県事業等について積極的な情報提供をお願いします。

あわせて、県における施策策定や研修実施の際には、会からの委員・講師等の派遣、また会を活用しての保育現場の情報収集など、協働関係のさらなる活性化に取り組んでいただけますようお願いいたします。

平成30年度 千葉県民間保育振興会 残高試算表

平成30年6月30日現在

収入の部

適用	科目	予算額	4月実績	5月実績	6月実績	7月実績	8月実績	9月実績	10月実績	11月実績	12月実績	1月実績	2月実績	3月実績	科目	累計	予算残高	適用
	1 会費収入	2,690,000	0	0	910,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 会費収入	910,000	1,780,000	
	2 基金・寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 基金・寄付金収入	0	0	
	3 事業収入	1,821,000	0	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 事業収入	150,000	1,671,000	
	01 総会参加費	175,000	0	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01 総会参加費	150,000	25,000	
市町村代表者会議	02 プロジェクト参加費	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02 プロジェクト参加費	0	150,000	市町村代表者会議
参加費・事業費	03 研修会参加費	296,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	03 研修会参加費	0	296,000	参加費・事業費
ブース出展収入	04 保育者の集い参加費	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	04 保育者の集い参加費	0	150,000	ブース出展収入
	05 就職フェスタ参加費	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05 就職フェスタ参加費	0	50,000	
全私保連より	06 全私保連地方組織強化費	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	06 全私保連地方組織強化費	0	1,000,000	全私保連より
全私保連関東ブロック会議より	4 全私保連関東ブロック研修費補助金	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4 全私保連関東ブロック研修費補助金	0	50,000	全私保連関東ブロック会議より
	5 基金取崩金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5 基金取崩金収入	0	0	
定期預金	6 積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6 積立金取崩収入	0	0	定期預金
関東ブロック・委員会事務費	7 戻し入れ収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7 戻し入れ収入	0	0	関東ブロック・委員会事務費
オリコ・祝儀・利息・ゼンボ	8 雑収入	500,000	0	40,000	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8 雑収入	40,098	459,902	オリコ・祝儀・利息・ゼンボ
全私保連会費	9 預り金収入	0	0	0	270,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9 預り金収入	270,000	-270,000	全私保連会費
	10 前期繰越金	3,137,842	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10 前期繰越金	0	3,137,842	
	収入合計	8,198,842	0	190,000	1,180,098	0	0	0	0	0	0	0	0	0	収入合計	1,370,098	6,828,744	

支出の部

	科目	予算額	4月実績	5月実績	6月実績	7月実績	8月実績	9月実績	10月実績	11月実績	12月実績	1月実績	2月実績	3月実績	科目	累計	予算残高	
会場費	1 事業支出	4,812,000	0	576,694	927,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 事業支出	1,504,204	3,307,796	会場費
町村代表者会議/H P /6プロ研修	01 総会	875,000	0	576,694	181,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01 総会	758,204	116,796	町村代表者会議/H P /6プロ研修
研修委員会	02 プロジェクト推進費	1,850,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02 プロジェクト推進費	0	1,850,000	研修委員会
集い委員会事業	03 研修会開催費	746,000	0	0	746,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	03 研修会開催費	746,000	0	集い委員会事業
経営委員会研修等	04 保育者の集い開催費	1,126,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	04 保育者の集い開催費	0	1,126,000	経営委員会研修等
	05 就職フェスタ参加費	215,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05 就職フェスタ参加費	0	215,000	
理事会お茶・正副会長会議	2 事務費支出	2,444,000	0	36,484	494,854	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 事務費支出	531,338	1,912,662	理事会お茶・正副会長会議
各委員会活動費	01 理事会費	150,000	0	21,399	2,860	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01 理事会費	24,259	125,741	各委員会活動費
郵便	02 各委員会運営費	754,000	0	0	434,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02 各委員会運営費	434,000	320,000	郵便
広報誌・理事会資料	03 通信費	150,000	0	3,845	32,607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	03 通信費	36,452	113,548	広報誌・理事会資料
文具	04 印刷費製本費	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	04 印刷費	0	250,000	文具
理事会交通費	05 消耗品費	70,000	0	2,708	24,847	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05 消耗品費	27,555	42,445	理事会交通費
全国大会他	06 交通費	400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	06 交通費	0	400,000	全国大会他
関東ブロック会費	07 派遣助成費	400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	07 派遣助成費	0	400,000	関東ブロック会費
手数料・団体祝儀・慶弔費	08 負担金	70,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	08 負担金	0	70,000	手数料・団体祝儀・慶弔費
	09 雑費	200,000	0	8,532	540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	09 雑費	9,072	190,928	
	3 繰出金支出	500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 繰出金支出	0	500,000	
	01 積立金繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01 積立金繰出金	0	0	
全私保連会費	02 大会繰出金	500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02 大会繰出金	0	500,000	全私保連会費
	4 預り金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4 預り金支出	0	0	
	5 予備費	442,842	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5 予備費	0	442,842	
	支出合計	8,198,842	0	613,178	1,422,364	0	0	0	0	0	0	0	0	0	支出合計	2,035,542	6,163,300	

A	収支差額	0	-423,178	-242,266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
B	繰越残高	3,137,842	2,714,664	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398	2,472,398				
C	小口現金残高	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690	5,690				
D	通帳残高	3,132,152	2,708,974	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708	2,466,708				

※青字は未確定